

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

					No.	34-003		
PDCA	事務事業名	新病院建設事業	部課等名	半田病院事務局 管理課 総務担当	担当	青木		
					内線等	22-9881		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち						
		節 第3節 健康増進と医療体制の充実						
		基本施策： 3. 半田病院						
		単位施策： (2) 健全な経営の推進						
	根拠法令等	個別施策： ④将来構想の検討						
	対象・目的	現病院は、建設後35年以上経過しており、老朽化、耐震性、狭隘化等の課題を抱えている。特に、耐震性の課題については、地震の規模によっては医療の継続提供ができなくなる可能性がある。これらの課題や、経営面、人材確保の面からも、常滑市民病院との診療統合及び経営統合を進めたうえで、令和7年5月の新病院開院を目指す。						
	目的を達成するための手段・活動内容	【診療統合・経営統合】 常滑市民病院との医療提供体制等に関する具体的な方策を協議会及び作業部会で協議する。 【新病院建設工事関連】 ①新病院建設に伴う事前調査業務を実施する。 ②新病院建設に伴う土地利用計画策定業務を実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	: 単位	
		常滑市・半田市医療提供体制等協議会の実施		—	—	4	回	
		同作業部会の実施		—	—	8	回	
		事業費		—	—	13,308	千円	
		人件費		—	—	21,134	千円	
		総事業費		—	—	34,442	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	: 単位	
		協議会実施1回当たりのコスト		—	—	621	千円	
	作業部会実施1回当たりのコスト		—	—	305	千円		
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	: 単位	
		①事前調査	実績値			100	%	
			目標値			100		
			②土地利用計画	実績値			60	%
		目標値				65		
③		実績値						
		目標値						
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性		
			①市の関与の妥当	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化率	—	
	事業の 評価・課題	B 平成30年6月1日に「常滑市・半田市医療提供体制等協議会設置に関する協定書」を締結するとともに、4回の協議会及び8回の作業部会を開催し、常滑市民病院との機能連携や経営形態のあり方の具体的な方策等について検討を行った。また、31年2月4日には、協議会での検討結果を踏まえ、両病院の診療統合及び経営統合に向けた病院連携協議に関する合意書を取り交わした。 建設関連事業に関しては、建設予定地の変更にも柔軟に対応し、事前調査業務については100%、土地利用計画策定業務についても当該年度の予定出来高をほぼ達成することができた。						
		A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持 常滑市民病院との診療統合及び経営統合を実現するために、「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」を開催し、協議する。 一方、建設工事関連においては、現病院が抱える老朽化、耐震性、狭隘化等の課題を解決するために、知多半島中南部全域における中核病院として、救急医療を中心とした政策的医療を継続的に担う新病院を、安全にかつ遅滞なく建設する。				
			令和元年度の目標	成果指標		目標値	: 単位	
①業務進捗率（土地利用計画）				100	%			
②業務進捗率（設計用入力地震動評価）		100		%				
	③業務進捗率（設計事業者選定プロポーザル）		100	%				